

里親見つけかりよかったね

子犬 子ネコ

待つほどの盛況 19匹すぐ引き取り



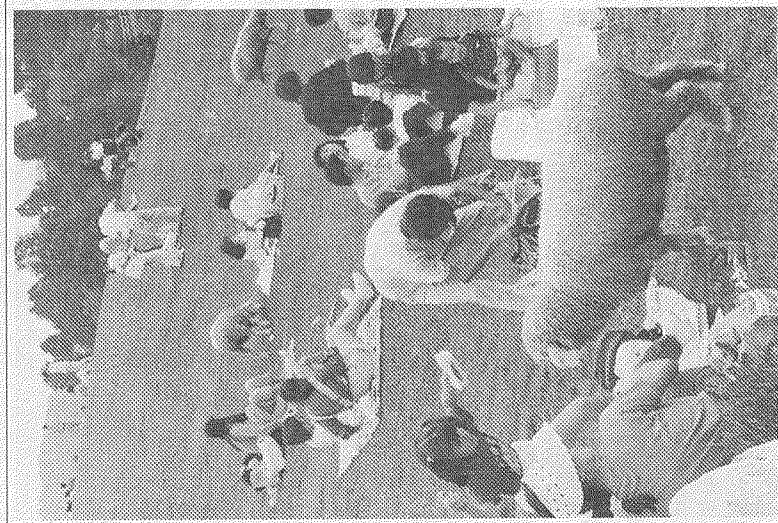
飼ってくれる人を求めて持ち込まれた子ネコ。「かわいい」とすぐに新しい飼い主に神戸市西区のコープデイズ神戸西店で

飼えなくなった子犬や子ネコを、飼いたい人があせんする里親探しの催しが二十二日、神戸市西区のコープデイズ神戸西店で開かれた。二十日から始まった動物愛護週間になちなみ、民間団体「フリスキーペットクラブ」(本部・東京)が「秋のフリスキー愛ランド」と銘打って初めて開催した。持ち込まれた犬やネコはすぐに新しい飼い主に引き取られ、大勢の人が待つほどの盛況。

持ち込む犬、ネコは生後五十日以内で制限つきだったが、もらい手がなく困っていた人たちが次々と訪れた。この日で犬九匹、ネコ十四匹が持ち込まれた。飼いたいという里親の方が多く、すぐに決めるご持ち帰った。同クラブは五年前に設立され、東京、大阪、名古屋などで同様の里親探しを年間約四十回開き、これまでに四千六百四十人の里親に引き取られた。

西区で民間団体が開催

神戸市北区山田町の市動物管理センターでもワンワン交換会と名付けた里親探しが毎週水曜日午後一時半から行われているが、あまり知られていないこともあって、引き取られるのは年間約百二十匹。ペットブームの一方で、捨てられる犬、ネコは後を絶たない。市内の各保健所に引き取られた犬やネコは同センターで炭酸ガスによって安楽死させている。九〇年度に処理された犬は三千三百八十六匹、ネコは九千九百九十二匹。犬はここ数年、減る傾向にあるが、ネコは最近のブームもあって処理数も年間千匹近いペースで増え続けているという。



さわやかな風が吹き抜ける六甲山。ヒリッとしたわかれながら弁当を広げる家族連れ
神戸市灘区の六甲山牧場で

連休初日 秋楽しむ家族連れら 六甲山など行楽地にぎわう

連休初日の二十二日、県内各地の行楽地は家族連れや若者らでにぎわい、秋の行楽は本番を迎えた。好天に恵まれ六甲山は家族連れが弁当を広げてくつろぐ光景があちこちで見られた。六甲山牧場では、登み切った空気のもどで、家族連れらが弁当を広げた。放されたヒリッが人なつこく

寄って来て、なごやかに交歓していた。この日から「第七回摩耶山まつり」が幕開け。「まや」の名前の子ども約二十人が招待され、山上の施設の利用券などを賞品にした宝くじなどがあつた。まつりは十二月二十三日まで続き、期間中、六甲山と摩耶山、再度山を会場に、ハイ

キングやスポーツイベント、俳句大会などが開かれる。神戸市立王子動物園では園内の動物科学資料館で始まったアマチュア動物写真展「新チームは」県秋季高校野球大会(県高校野球連盟、朝日新聞社